

高架橋梁の補強工法(アーチサポート工法)

コンクリート構造研究室

- ◆ アーチ型鋼材が吊り型枠を兼ねるため、支保工を省略でき施工性が向上します。
- ◆ せん断補強鉄筋はアーチ型鋼材にボルト接合するため、フレア溶接が不要です。
- ◆ 緩やかな曲線状の外観で、景観に配慮した構造です。

□ 概要 本工法は、既設ラーメン高架橋の梁補強を目的とした工法です。H鋼と鋼板で構成されるアーチ型鋼材を梁下面に設置し、曲げおよびせん断補強鉄筋をあと施工アンカーにて施工した後、高流動コンクリートを打設し、梁を再構築します(図1~3)。

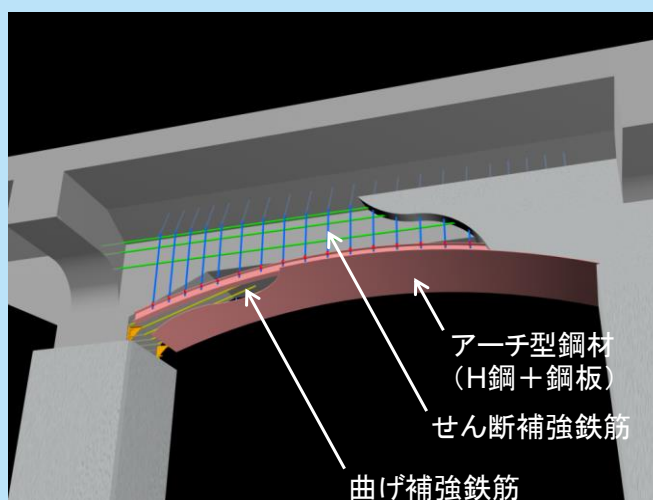


図1 アーチサポート工法概要



図2 アーチ型鋼材



図3 適用事例

※本工法は、東急建設株式会社と共同で開発したものです。(特許第4025793号、5121967号)

※問合せ先: 東急建設株式会社 技術統括部技術推進部技術管理グループ TEL: 03-5466-5272